

■〈7.22 JCJ Online 講演会〉

「民主主義に不可欠 メディアはくたばらず」講演レジュメ

1、岸田首相爆殺未遂事件をめぐって

犯行の動機／大合唱「動機などどうでもよい」のか／なぜ「無敵の人」が増殖するのか／にもかかわらず淡々とする社会と時代／安倍晋三元首相銃撃事件／統一教会はどこへ消えたのか／今なお続く安倍独裁政治

2、亡国の国家運営が批判されない奇観

「国力としての防衛力を総合的に考える有識者会議」における山口寿一・読売新聞社社長の発言から／黙殺された共同通信の大スクープ～沖縄の線上海上計画とAIによる世論誘導の企み／“打ち出の小槌としての消費税”を論じないマスメディア／インボイス制度とフリーランス保護の大矛盾／“マイナンバー”の本質はなぜ語られぬ／原発回帰その他

3、ジャーナリズムとは何なのかを考える

大前提は「権力のチェック機能としての存在意義」／そうではないとする発想も／放送法の問題／記者クラブ問題／報道の自由度ランキング世界第68位（前年は71位）でG7中最低

4、貧すれば鈍する

相次ぐ総合雑誌・週刊誌の休刊／インターネットに抜かれたマスコミ4媒体の広告費／存立基盤そのものが失われつつある／ネイティブ・アド／軽減税率が適用されるに至った経緯／東京五輪のオフィシャル・パートナー契約は報道機関であることを放棄したことを意味するのではないか／再販価格維持政策／押し紙／クロスオーナーシップ／日刊新聞法

5、「紙からネットへ」がもたらす近未来の“民主主義”像とは

玉石混交／タコ壺化／跋扈するフェイクニュース／ピンク・スライムが溢れる米ジャーナリズム界／国家による直接支援も始まったヨーロッパ／新聞デジタル化への期待も／担い手の問題

6、私が「リベラルによるリベラル批判」(『文藝春秋』8月号)を書いた理由